

令和2年6月26日

関係各位 各位

公益財団法人 日本バドミントン協会
選手強化本部 医事・トレーニング部会

小児の発熱に関して

標記の件について、下記の通りお知らせいたします。

記

医療機関（小児科）では、発熱は37.5度以上、37.5度未満は平熱と扱われることが多い。小児への予防接種においても、37.5度以上は発熱者、予防接種不適切者として判断される。

このことから、小児の発熱は37.5度以上とし、37.5度未満は、選手の身体状況を総合的に判断して保護者が試合・合宿の参加を決めること。判断に迷う時は必ず医療機関を受診、医師の判断を仰ぐこと。

※小児科の受診年齢は、おおよそ15歳未満（中学校3年まで）

なお、公益財団法人日本バドミントン協会の作成している『新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン』および『新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン（3章バドミントン競技大会・イベント実施にあたって）』にて、平熱は37.0度としておりますが、小児（中学校3年まで）では37.5度以上を発熱、37.5度未満は平熱とします。

※本事項はガイドライン改訂時に追記予定

以上